

ヒロシマ・ナガサキ・オキナワから平和を考える

折り鶴の少女、長崎の郵便配達、ヌチドゥタカラー平和への想いを繋ぐ

“戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない”
— ユネスコ憲章前文より —

2024年7月7日(日) 第一部:11:00~ (開場:10:30)

第二部:13:45~



原爆の子の像のモデル
佐々木禎子さん

会場：月島社会教育会館 アートはるみギャラリーB

【アートはるみ】中央区晴海1丁目4-1(月島第三小学校等複合施設地下1階)

地下鉄：「月島駅」10番出口徒歩約12分

都バス：「晴海一丁目」徒歩約2分

江戸バス(コミュニティバス)：「朝潮橋南」徒歩約3分、「春月橋南」徒歩約5分

参加費：無料(先着50名、要事前予約)

お申し込み先：携帯 090-1767-1468(麻生)

E-mail: chuoku.unesco@gmail.com

プログラム

第一部：11:00~ 映画「長崎の郵便配達」上映(97分)

第二部：13:45~ 映画「あめつちの日々」上映(92分)

対談「ヒロシマ・ナガサキ・オキナワから平和を考える」

川瀬美香監督(映画「長崎の郵便配達」「あめつちの日々」)

×滝沢ロコ氏(ロコ企画主宰、俳優、声優)

×高江洲禮子氏(成城サローネ・フォンタナ主宰)

対談コーディネーター：エバレット・ブラウン氏
(一般社団法人京都会所代表理事
元EPA通信日本支社長、日本文化研究家)

主催：中央区ユネスコ協会

後援：東京都中央区



中央区ユネスコ協会

「長崎の郵便配達」のモデル
谷口稜暉さん



長崎の郵便配達
from Nagasaki

1冊の本からはじまった
父の記憶を辿る旅
—
今、娘が受け取る
平和へのメッセージ。

土に根っこをおろし、
伝統を未来につなぐ。
沖繩本島・読谷村の
陶工・松田米司と、
しまんちゅたちの物語。

あめつちの日々